

# ひょうご起業ゼミ 募集要項

主催：兵庫県産業労働部新産業課  
運営事業者：株式会社ガイアックス

## 1. 実施背景・目的

スタートアップは、社会変化を先取りし、成長分野を牽引するとともに、ビジネスにより環境、教育、人権などの社会課題を解決する重要な主体の一つです。

このため兵庫県では、起業家が集う場づくり、資金支援、成長支援、人材育成に取り組んできました。特に、「第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市（グローバル拠点都市）」に第1期に引き続き選定されて以降、その取組を一層強化しています。

起業のさらなる活性化には、子どもの頃から社会課題に気づき、主体的に取り組む人材の育成が重要です。そうした認識のもと、兵庫県では、社会課題の解決に向けて起業も含め主体的に取り組む若者を育成するため、県内各地の中高生を対象に、自ら課題を発見し、解決策を考える実践型教育プログラムを展開しています。

本業務では、県内の中学校・高校に、各学校の事情に応じてアントレプレナーシップ教育プログラムを導入することで、起業を将来の選択肢に取り入れ、社会課題解決に主体的に取り組む人材の育成を図ります。

社会を少しでも良くしたいという意識と行動がイノベーションと活力をもたらします。本プログラムを通じて、兵庫から、社会をリードする若者を育成していきます。

つきましては、本プログラムを導入いただける学校を募集いたします。ぜひご応募いただきますようお願い申し上げます。

## 2. 募集対象

項目	詳細
学校種	中学校・高等学校・中等教育学校・高等専門学校（1～3年生）
エリア	兵庫県全域（摂津（神戸阪神）・播磨・但馬・丹波・淡路）

## 3. プログラム内容

項目	詳細	
	ひょうご起業ゼミ「導入コース」	ひょうご起業ゼミ「伴走コース」
概要	各校の多様な実情や教育課題に合わせ	既に保有するビジネスアイディアを、講

	<p>て、以下の3つのテーマから最適なプログラムを選択できます。</p> <p>①探究編 起業家を「究極の探究者」と位置づけ、その起業動機や課題設定（テーマ発見）のプロセスを学ぶ。生徒の探究学習への意欲喚起と初期の手法習得を図る、探究学習の導入的プログラム</p> <p>②キャリア教育編 「起業家」という職業への理解促進を通じて、AI等が台頭する次世代社会において人間に求められる資質・能力、すなわちアントレプレナーシップについて考察を深めるプログラム</p> <p>③起業家育成編 起業が注目される社会的背景を理解した上で、実際のビジネスアイデアの創出までを体験。ビジネスコンテスト等へのエントリーといった具体的な次のステップを提示し、将来の起業を志す人材を育成するプログラム</p>	<p>師と壁打ち（メンタリング）を通じてブラッシュアップ。アイデアをプロトタイプ（試作品）に落とし込み、検証手法を習得するとともに、検証結果を踏まえてさらにアイデアおよびプロトタイプを改善する6コマ完結のプログラム</p>
<p>目的・ゴール</p>	<p>《共通》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業を将来の選択肢に入れる</li> <li>・課題解決に興味を持つ</li> </ul> <p>①探究編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究の意義と課題発見方法を理解する</li> <li>・探究に対するモチベーションを高める</li> </ul> <p>②キャリア教育編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの社会で必要になる力（アントレプレナーシップ）を知る</li> </ul> <p>③起業家育成編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望者対象のプログラムやビジネスコンテストエントリーを希望する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身のビジネスアイデアを洗練させる</li> <li>・自身のビジネスアイデアの価値を検証する</li> <li>・ビジネスコンテストへのエントリー・入賞</li> </ul>
<p>おすすめの学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間や総合的な探究の時間で、生徒が主体的になるプログラムを実施したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに学校でアントレプレナーシップを実施している</li> <li>・ビジネスコンテストエントリーを予定しており、アイデアの更なるブラッシュアップを希望している</li> </ul>

定員（1校あたりの人数）	下限・上限なし	10名程度 （グループで1つのアイデアを検討する場合、10組程度）
実施期間	採択決定後、お打ち合わせの上、順次～2027年2月7日（日）まで。 ※具体的な実施日時は各学校と打ち合わせのうえ決定	
所要時間	1コマ45～50分を2コマ/回、全1回での実施を基本とする  ※1コマのみの実施も可能。1回あたりの実施コマ数は、各学校の実情に合わせて協議の上決定する	1コマ45～50分を1コマ/回、全6回での実施を基本とする  ※1回あたりの実施コマ数や合計コマ数は、各学校の実情に合わせて協議の上決定する
実施場所	各学校が指定する場所 （教室、講堂、体育館等を想定。オンライン開催にも対応可能）	
開催費用	無償	
学校の準備物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は全て本事業の運営事業者である株式会社ガイアックスが行うため、学校側で準備いただくことは基本的にはありません。ぜひ生徒たちと一緒に授業に参加いただき、アントレプレナーシップ教育の魅力を感じてください。</li> <li>・スライドを投影するためのプロジェクターとスクリーン、もしくは大型モニターのご準備をお願いします。</li> <li>・講堂や体育館などで授業を行う場合はマイクのご用意をお願いします。</li> <li>・プログラムは総合的な学習の時間、または総合的な探究の時間での実施を想定して設計しています。</li> <li>・授業自体はアクティブラーニング形式で実施し、アイデアは生徒がそれぞれ個人で考えることを想定しています。</li> <li>・プログラムのカリキュラムや内容、実施方法などは学校と調整の上、決定します。</li> </ul>	

昨年度のプログラムの様子：



#### 4. カリキュラム詳細

導入コース：

##### ①探究編

コマ	概要
1	<p>テーマ：「起業」と「探究」の関係性</p> <p>概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起業と探究のプロセスにおける共通性を認識し、いずれも「自ら課題を設定すること」が起点となることを理解する。</li> <li>・ 実際の起業家の事例を通じ、起業の動機や事業アイデアの着想を得る手法について、クイズ形式を交えながら学ぶ。</li> <li>・ 日常生活の不便や社会ニュースなどを端緒として、世の中に潜在する課題を抽出・可視化するワークを行う。</li> </ul>
2	<p>テーマ：なぜ今、探究力が求められるのか</p> <p>概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起業家が多数のアイデアからどのように特定の事業テーマを絞り込むのか、その</li> </ul>

	<p>思考プロセスをクイズ形式で学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1コマ目で抽出した課題群の中から、事業化の視点で最も優位性の高いアイデアを1つに選定する。</li> <li>・起業家に必要とされる「探究力」が、特定の職業にとどまらず、これからの社会を生きるすべての人材に広く求められる普遍的な能力であることを理解する。</li> <li>・本プログラムの学びを踏まえ、今後の探究学習における自身のテーマ設定や、探究力を活用した将来の展望について主体的に考察する。</li> </ul>
--	--

## ②キャリア教育編

コマ	概要
1	<p>テーマ：AI等の台頭とこれからの人間に求められる力</p> <p>概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIをはじめとするテクノロジーの進化がもたらす生活の利便性向上や社会の発展について、具体例を交えながら考察する。</li> <li>・一方で、急速な技術革新に伴う社会構造の変化や、人々の生活・雇用に与える影響についても、事例を通じて現状を把握する。</li> <li>・これらの背景や、人材市場において起業経験者が高く評価される近年の動向を踏まえ、次世代において人間に求められる資質・能力の変容と、「アントレプレナーシップ」の重要性を理解する。</li> </ul>
2	<p>テーマ：アントレプレナーシップの醸成と実践</p> <p>概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アントレプレナーシップを育むためには、身近で小さな課題の解決を積み重ねることが最も有効な手段であることを学ぶ。</li> <li>・その実践の第一歩として、自身の身の回りや広く社会全体に視野を広げ、現在どのような課題が潜在しているかを抽出・可視化する。</li> <li>・アントレプレナーシップを習得するための今後の具体的な行動プロセスや、その過程で必要となる知識・スキル体系について理解を深める。</li> </ul>

## ③起業家育成編

コマ	概要
1	<p>テーマ：キャリアとしての「起業」への注目の高まり</p> <p>概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の最新事例を参照し、多様化するキャリア形成の選択肢の一つとして「起業」が定着しつつある現状を理解する。</li> <li>・現在、起業やスタートアップ支援の機運が高まっている背景について、社会構造の変化や起業がもたらす意義・利点といった観点から多角的に考察する。</li> </ul>
2	<p>テーマ：起業に向けた第一歩と実践プロセス</p> <p>概要：</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「起業の本質は社会課題の解決である」という前提を理解し、身近な生活課題や社会ニュースを端緒として、世の中に潜在する課題を抽出・可視化する。</li> <li>・実際の起業家が事業テーマを絞り込む手法を学び、抽出した課題の中から自身が最も解決に取り組むべき社会課題を1つに選定する。</li> <li>・創出したビジネスアイデアを実際の起業へと結びつけるための、具体的な行動プロセスやステップを把握する。</li> <li>・兵庫県内で開催されるビジネスコンテストや各種スタートアップ支援イベント等への参加が、アイデアの具現化に向けた有効な手段であることを理解し、次なる挑戦への動機付けを図る。</li> </ul>
--	---

伴走コース：

コマ	概要
1	<p>テーマ：基礎講座 ～ビジネスアイデアの骨格構築～</p> <p>概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業の本質が「社会や個人の課題解決」にあることを再認識し、本プログラムを通じて取り組む具体的な事業テーマを選定する。</li> <li>・起業を構成する重要3要素（ターゲット：誰の、課題：どのような困りごとを、解決策：いかにして解決するか）を体系的に整理し、言語化する。</li> </ul> <p>次回までの課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3分間のビジネスアイデア・プレゼンテーションの準備（※思考の言語化を最優先とし、スライド等の資料作成は任意とする）。</li> </ul>
2	<p>テーマ：壁打ち～ビジネスプランのブラッシュアップ～</p> <p>概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全参加者（または各グループ）が、現段階のビジネスアイデアについてプレゼンテーションを実施する。</li> <li>・講師からの質疑応答および専門的なフィードバックを通じて、プランの客観的な評価と課題の洗い出しを行う。</li> </ul> <p>次回までの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師からの指導・助言を基に、ビジネスアイデアの再考およびブラッシュアップを行う。</li> </ul>
3	2コマ目と同内容
4	<p>テーマ：プロトタイプ制作とニーズ検証</p> <p>概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業化において、本格的なプロダクト開発の前にプロトタイプを用いた顧客のニーズの検証（テストマーケティング）が不可欠であることを理解する。</li> <li>・生成AI等の最新技術を活用した、効率的なプロトタイプ制作手法および検証アプローチを習得し、実際の制作に着手する。</li> </ul>

	<p>次回までの課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロトタイプを完成させ、実際の対象者に向けたニーズ検証を実施する。</li> <li>・得られた検証結果に基づき、アイデアおよびプロトタイプの改良を行う。</li> </ul>
5	<p>テーマ：壁打ち～検証結果の分析と軌道修正～</p> <p>概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズ検証の結果を報告し、講師との対話を通じて市場のリアルな反応を分析する。</li> <li>・当初の仮説との乖離が生じた場合は、ターゲット層や解決策の抜本的な見直し（ピボット）を含めて軌道修正を図り、次に取るべきアクションを策定する。</li> </ul> <p>次回までの宿題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定したネクストアクションを実行し、事業計画をさらに前進させる。</li> </ul>
6	<p>テーマ：MVP開発と外部コンテストへの接続</p> <p>概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業化への次なる段階として、MVP（顧客に価値を提供できる実用最小限のプロダクト）を用いた実証の重要性を理解する。</li> <li>・自身やチームが保有するリソースの範囲内で実現可能なMVPの要件を定義・設計する。</li> <li>・最終目標であるビジネスコンテストへの理解を深め、本プログラムの成果としての具体的なエントリーへの意欲を喚起する。</li> </ul>

## 5. 使用言語

日本語

## 6. 採択校数

導入コース… 20校程度 伴走コース… 5校程度

※複数のコースや複数のプログラムへのお申込みも可能です。

例)

- ・1年生に「導入コース・①探究編」、2年生に「伴走コース」の実施を希望する
  - ・1年生に「導入コース・①探究編」、2年生に「導入コース・②キャリア教育編」の実施を希望する
  - ・1～3年生それぞれに異なるプログラムの実施を希望する
- 複数申込をご希望の場合は、お申込みフォームの第2希望・第3希望までご記載ください。

※令和6年度・令和7年度に採択された学校も応募可能です。

※応募が採択校数を超えた場合は、1校につき1コース・1プログラムの実施を前提として選考いたします。

## 7. 参加費用

無料

## 8. 実施会場

各学校が指定する場所（学校の教室や講堂、体育館などを想定）

## 9. 募集期間・応募方法

項目	詳細
募集期間	2026年5月1日（金）～2026年5月29日（金）17時まで
応募方法	<p>各学校の環境に合わせて、下記のいずれかのフォームよりお申し込みください。</p> <p>▼Microsoft Forms <a href="https://forms.cloud.microsoft/r/9cEw8APm0K">https://forms.cloud.microsoft/r/9cEw8APm0K</a></p> <p>▼Googleフォーム <a href="https://forms.gle/Lw9YArVjqyYx9bPY6">https://forms.gle/Lw9YArVjqyYx9bPY6</a></p> <p>※お申し込みの際は、必ず所属長の承認を得た上でお申し込みください。 ※生徒による応募は受け付けません。</p>

## 10. 選考について

応募多数の場合は兵庫県・教育委員会・ガイアックスで調整の上、総合的に判断して導入校を選考します。

## 11. 採択校の通知について

採択結果は2026年6月5日（金）までに全ての応募者に対してメールで通知します。

※なお、評価の結果等についての問い合わせには応じられません。

## 12. 実施スケジュール

募集期間：2026年5月1日（金）～5月29日（金）17:00

採択結果通知：2026年6月1日（月）～6月5日（金）

お打ち合わせ日程調整・実施：2026年6月8日（月）～6月30日（火）

※お打ち合わせはオンラインで実施します。

授業実施：お打ち合わせ終了後～2027年2月7日（日）

※具体的な実施日時は各学校と打ち合わせのうえ決定します。

### 13. アンケートへの協力依頼

プログラム前後やプログラム中、プログラムの改善や効果検証のために採択校の生徒や教職員を対象にしたアンケートやヒアリングにご協力いただくことがあります。

### 14. 問い合わせ

運営事業者：株式会社ガイアックス (edu-entre@gaiax.com)

担当：教育事業部 起業家教育事業 講師 村上 純一郎